

世 界 史

(歴史総合・世界史探究)

- I 1648年に締結されたウェストファリア(ヴェストファーレン)条約において決められた代表的な項目を3点取り上げ、その内容を説明したうえで、この条約がその後のヨーロッパの国際関係に及ぼした意義について述べなさい。(400字以内)

Ⅱ 18 世紀のヨーロッパでは人々の社交のあり方が大きく変化し、ウィーン体制期に入ると「市民結社の黄金時代」と呼ばれるほどクラブや協会の活動が活発化した。こうした事情を踏まえ、18 世紀後半から 19 世紀にかけてヨーロッパで「市民結社」が発展した背景を前近代の中間団体との相違に触れつつ説明した上で、その政治文化史的な意義と限界を論じなさい。ただし、下記の語句をすべて必ず使用し、その語句に下線を引きなさい。(400 字以内)

植民地物産，メディアの発達，ギルド

Ⅲ 次の文章は、国際法学者で日本の外務官僚の倉知鉄吉が、1909年に自身が「韓国併合」の語を考案した経緯を、のちに回顧して記したものである。これを読んで問いに答えなさい。(問1、問2をあわせて400字以内)

当時我官民間に韓国併合の論少からざりしも、併合の思想未だ十分明確ならず、或は日韓両国対等にて合一するが如き思想あり、又或は奥匈国の如き種類の国家を作るの意味に解する者あり、従て文字も亦合邦或は合併等の字を用いたりしが、自分は韓国が全然廃滅に歸して帝国領土の一部となるの意を明かにすると同時に、其語調の余りに過激ならざる文字を選ばんと欲し、種々苦慮したるも遂に適當の文字を発見すること能わず、因て当時未だ一般に用いられ居らざる文字を選ぶ方得策と認め、併合なる文字を〔中略〕用いたり。

(春畝公追頌会編『伊藤博文伝 下』より引用、ただし一部改変)

問1 下線部が示す1867年に成立した同君連合の帝国名を書きなさい。

問2 1905年以降の朝鮮植民地化過程を朝鮮側の抵抗に言及しつつ論じるとともに、上の文章の内容を踏まえて「韓国併合」の性格について述べなさい。あわせて「韓国併合」と比較しながら第一次世界大戦後に登場した委任統治とはなにかを述べ、このような新たな統治方式がとられた背景を論じなさい。